

さくら組生活発表会の様子



28日（水）の午前中、さくら組の子どもたちの生活発表会がありました。保護者のみなさんにお集まりいただき、劇や歌や合奏を披露したり、親子で一緒に表現遊びをしたりと、楽しいひと時を過ごしていただくことができましたと思います。

本番の前日（27日）に、いわゆるリハーサルをしたのですが、かもめ組のみなさんと、中休みには、小学校から4年生の有志のみなさんが駆けつけてくれました（写真左上）。4年生は、日ごろ4・4交流をしている関係性から、「もしよかったら、観に来てください」と声掛けしたところ、休み時間だったので来てくれたということです。台場ならではの関係性ですね。4年生の子どもたちも「かわかった」「見に来てよかった」と言ってくれていました。本当は、台場保育園のいるか組さんも見に来てくださる予定でしたが、インフルエンザが流行っていて、残念でした。

他の3枚の写真は、当日の様子です。小学校でよくある、いわゆる学芸会や音楽会は、イメージとしては「本番に向けて練習」を繰り返し、当日を迎えて披露するという感じだと思うのですが、幼稚園の生活発表会は、そのニュアンスがまったく違うのだなと、12月のかもめ組さんの発表会に続いて、感じたところです。それは、いわゆる「本番に向けた練習」という概念ではなく、毎日の生活の中で楽しみながら培われたものを、当日、見に来てくださった方と、そこでも一緒に楽しむ（まさに遊ぶ）ものとして位置付けているのだということです。

だから、「本番」もとっても楽しい時間になるのですね。